

子ども第三の居場所コミュニティモデル つながるかんでんち報告



Supported by
 日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION



つながるかんでんち



- 目的
子どもたちが放課後を安心して過ごせる居場所づくり
子どもたちの生きる力を育む機会づくり
- 開所状況
月・水・木曜日 15:00～18:00
- 利用料金 月額6000円
- 対象 主に近隣の小学生
- 運営体制
スタッフ、食事・学習ボランティア

達成目標 小学生月平均15名利用

これまでの活動

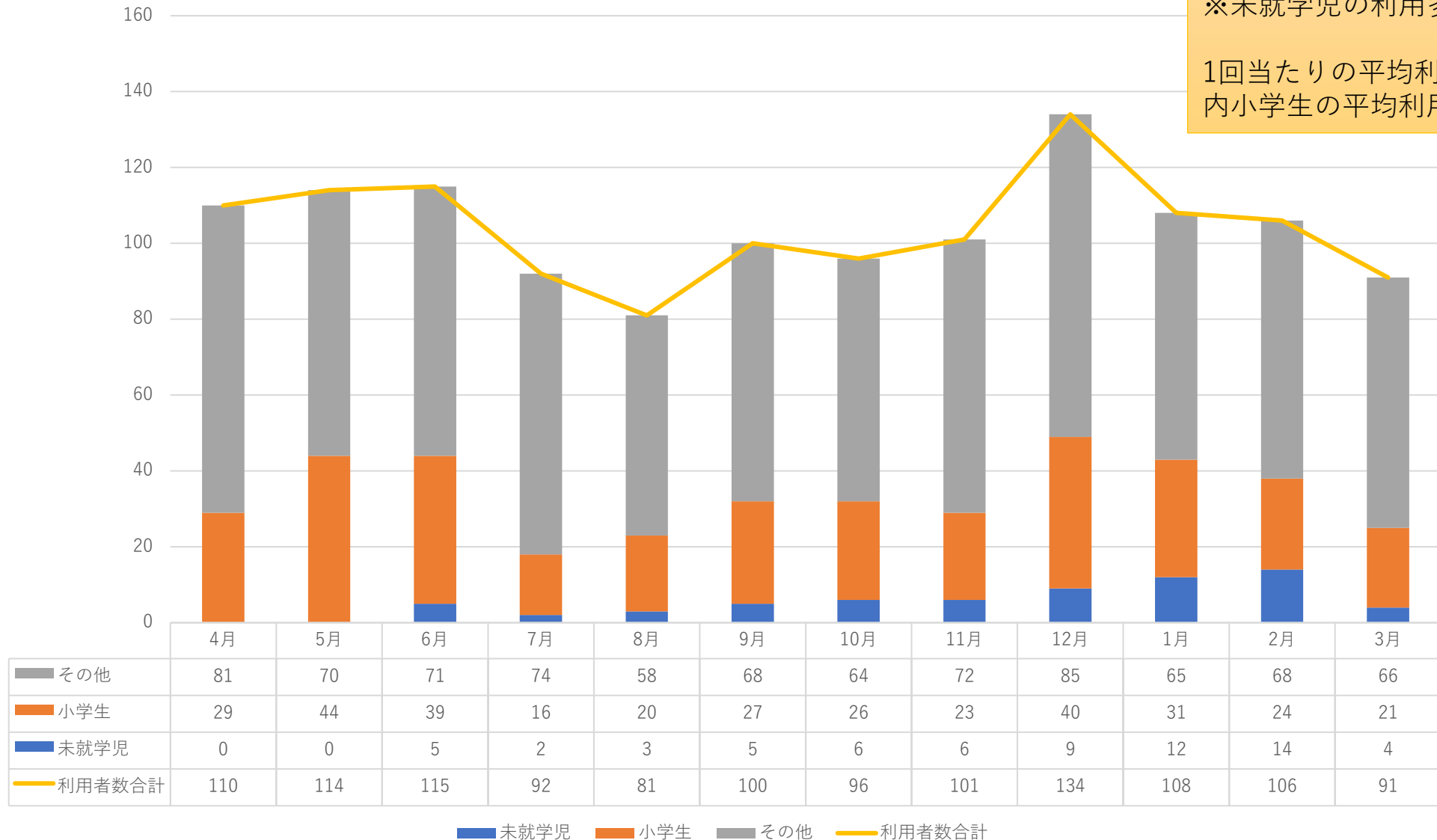
- 1期目：法人設立、建物の改修、プレオープン
- 2期目：本稼働、子どもたちの受け入れ開始
- 3期目：運営体制の変更、ものづくりWS開始



2024年度利用者実績

月当たりの平均利用者：103人
内小学生平均利用者：28人
※未就学児の利用多い

1回当たりの平均利用者：9人
内小学生の平均利用者：2人



多世代の交流



お兄さんお姉さんと遊びます



みんなでご飯を食べます

食育



かんでんちでは食事を大切にしています。
寄付していただいた食材を活用して、ボランティアさんと一緒につくります。

ものづくりワークショップ



缶バッジづくり
ミシンでぞうきんづくり
紙紐でキャラクターづくり
3Dプリンターでキャップオープナー などにチャレンジ！

イベント



袖ヶ浦ガーデンの子ども向けイベントに参加。おむすび豚汁販売しながら周知活動をしました。



- ・ 夏祭りで駄菓子屋とカキ氷を自分で作ろう
 - ・ 戦争をなくし平和を考える意見交換会
 - ・ クリスマス会
 - ・ 自分で準備から片付けまでホットケーキを作ってみよう！
 - ・ 豊洲市場からのマグロの頭をみんなで一緒に料理して食べてみよう！
- 近くの鳥井崎公園にて3on3に参加して地域の子どもたち一緒に遊ぼう！

オープンデイ



平日に来られない方やお試したい方向けに毎月1回「つながるかんでんちオープンデイ」を開催

活動の変化

- 未就学児の親子の利用が増加した。
- これまでの活動を通じて小学校との交流が増え、かんでんちの周知協力や親御さんへの紹介をしてくれるようになった。
- 食材の寄付が増えた。
- 昨年までの報告会の成果として、市役所、学校、民生児童委員、社協、子ども支援団体と継続して情報交換が行えるようになった。
- ボランティアが主体的に変化し、居場所運営に対し積極的にアイデアを出してくれるようになった。
- 新規ボランティアが増加した。

今後について

- ・現時点でも子どもの利用者が目標に到達していない。引き続きオープンデイや周知活動を継続し、利用者を増やしていきたい。
- ・学校や児童委員やケースワーカー等の紹介による不登校の子どもたちも受け入れていきたい。
- ・木更津市協働のまちづくり補助金を活用して活動継続する。

